

最新的话题と議会報告をお届けします。

あとべ 薫 かおる 通信

青葉区 仙台市議会議員【5期】 会派:せんだい自民・参政の会



令和7年仙台市議会第1回定例会は、2月7日(金)から3月13日(木)まで開かれ、過去最大となる総額6,756億7,500万円の予算を可決し閉会しました。次回の第2回定例会は、今年6月9日(月)から24日(火)までの予定です。

◎仙台市(各手続き・部署が分からない・困り事等)へのお問い合わせは

仙台市総合コールセンター
杜の都 おしえてコール
☎022-398-4894
 平日:午前8時から午後8時まで

土曜日・日曜日・祝日および年末年始
 (12月29日～1月3日)は午後5時まで
 (年中無休)
 日本語のほか、英語、中国語、韓国語、
 ベトナム語、ネパール語でも通じます。

1 青葉山・音楽ホールと 中心部震災メモリアル拠点複合施設の 財政負担について

私たち会派は、青葉山エリア複合施設整備の事業費のうち、音楽ホール・震災メモリアル拠点複合施設の実施設計に関する予算に懸念を示しました。本施設は巨額の事業となる可能性が高く、安易な整備が市民サービスの低下を招く恐れがあります。今年度の予算には基本設計に加え実施設計も含まれていますが、建設コスト総額が示される前に進めるのは順序が違つと指摘し、総額が明確になってから実施設計を進めるべきと主張しました。また、透明性を高めるため、総額が示された後に市民説明会の実施を求めました。今後も市民の意見を踏まえ、適切な予算執行と慎重な事業運営を求めています。



今回の設計者によるイメージパース

2 AEDの屋外設置が決定

昨年の第3回定例会で私が提案した、市内全小中学校への自動体外式除細動器(AED)の屋外設置が決定しました。これにより、休日や夜間を含め、いつでも誰でもAEDを使用できるようになります。

今回の設置により、学校施設を利用するスポーツ少年団や施設開放の利用者だけでなく、地域住民も活用できるようになります。雨天時や防犯面を考慮し、工夫を凝らしたボックス内にAEDを配置。令和7年度中に100台、令和8年度中にさらに100台が順次配備される予定です。今後も、市民の安全を守るための施策を積極的に提案していきます。



台原小学校の正面玄関に設置されているAED

実現!!

活動報告



大学講義 2025年1月

今年も東北福祉大学で、恒例の講義の機会がありました。熱心な学生たちの前でテーマは「行政と議会」「市長と議員」。それぞれの役割の違いや仕事の内容を説明しました。



子どもの遊び場を視察

2024年11月
 議会で注目され、この度仙台市で決まった屋内の子どもの遊び場。花巻市のおもちゃ美術館の木製玩具を用いた「木育」を学びました。



学校給食現場を視察

2024年12月
 東長町小学校の学校給食を見学し、調理現場と献立など現状の課題を視察しました。

桜ヶ丘 2025年1月

地元・荒巻西分団の出初祝賀会にて。団員の皆さんは火災や災害時の対応で期待される反面、全国では人手が不足が課題となっております。



荒巻・堤町

2024年11月
 手作り野菜を地元の皆さんと収穫しました。



荒巻・堤町 2025年1月

荒巻小学校の児童が通う通学路。路面標示が消えており、新たな表示を行いました。新入学児童を迎える時期に間に合いました。

仙台市議会議員 跡部 薫(あとべ かおる) 仙台市議会 会派「せんだい自民・参政の会」会長

- 防災士 ●みやぎ障害者陸上競技協会会長 ●仙台市私立幼稚園PTA連合会会長
- 北仙台地区連合町内会顧問 ●中山学区連合町内会顧問 ●桜ヶ丘学区連合町内会顧問 ●荒巻地区町内会連合会顧問
- 北仙台中学校区地域教育協議会副会長 ●桜丘中学校区青少年健全育成連絡協議会顧問
- 双葉ヶ丘地区防犯協会実働隊員 ●荒巻マイスクール児童館第三者委員

昭和39年仙台市青葉区生まれ 東北学院榴ヶ岡高校卒業、東北学院大学法学部卒、東北福祉大学大学院修了

会派/せんだい自民・参政の会

TEL.022-214-8644

あとべ薫 仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22

事務所 TEL.022-728-8588

URL atobe-kaoru.com

E-mail info@atobe-kaoru.com

1 教育現場の課題から必要なことは

令和5年度、仙台市の不登校児童生徒数は3,128人に達し、東北ファースト1位※となりました。さらに、**暴力行為の発生件数は2,513件と前年度の約2倍に増加し、政令市の中で2番目※**に多い深刻な状況です。このような課題が山積する中、市長はダイバーシティ教育を推進し、新教科「国際探究科」の設置を予定しています。**※1,000人あたりの発生件数**国際的な視点を育む教育の重要性は理解できますが、不登校や暴力行為の増加という現実を前に、新たな教科の創設が最優先事項なのか疑問を感じざるを得ません。まず必要なのは、**既存の教育環境を整え、子どもたちが安心して学べる環境をつくること**ではないでしょうか。

私たちの会派は、不登校児童生徒への支援体制、学校と医療機関の連携、スクールカウンセラーの活用状況について議会でいただきました。現在の支援は十分ではなく、体制強化が求められます。そのため、退職教員の経験を活かした「相談・学び塾」のような**個別支援**の取り組みを市が積極的に支援することを**提案**しました。教育の未来を見据えることも重要ですが、今まさに支援を必要としている子どもたちへの対応が最優先です。仙台市の教育行政が必要な支援に注力し、**子どもたちが安心して学べる環境を整えること**を強く求めていきます。

□不登校児童生徒(小・中学校)の現状と取り組み



(文部科学省「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等」生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果より)

仙台市議会 議会報告



第1回定例会定例会
せんたい自民・参政の会
代表質疑

令和7年2月17日(月)〈質問と答弁の抜粋〉



2 財政の課題

- 仙台市の倒産件数
- 伸び率が高い仙台市の消費者物価指数への対応
- 12月議会で議決した補正予算67億円の効果
- 今後増え続ける義務的経費(人件費・扶助費・公債費等)
- 今後増え続ける義務的経費・投資的経費(公共施設等社会資本の整備)

3 大規模施設整備(表面参照)

- 度重なる本庁舎建設費の増額(472億円からはじまり、4回目となる585億円)
- 音楽ホール・中心部震災復興メモリアル拠点複合施設財政負担の妥当性

4 宿泊税

- レジシステムの宿泊税対応の補助内容
- コールセンターの対応について
- 11月の課税開始時期(予約は8カ月前には始まってしまうが)
- 市長から課税を担う宿泊事業者への説明

5 仙台市アリーナ

- 市民施設だとしてもあまりにも少ない一般市民への開放予定

6 介護現場の課題

- 物価高騰に悩む高齢者施設への安定的補助・支援策の必要性
- 介護報酬内で行われる介護人材の処遇改善の限界
- 国が設置する宮城県の地域医療介護総合確保基金の活用
- 令和9年に廃止予定の技能実習制度に代わる新たな育成就労制度について
- 介護分野で働く外国人の日本語習得等の定着支援、就労支援策

7 高齢者の健康支援

- アクティブシニア・ボランティアポイント制度の導入について
- 先行事例の横浜市との違い、さらなる制度の充実策

8 個別避難計画(地域防災計画)の策定

- 個別支援制度の対象となる要配慮者名簿の作成と確認方法
- 避難訓練事例「ひなんさんぽ」の仙台市の導入可能性について

9 救急搬送困難事案への対応

- 救急医療病院間連携推進事業への評価と本格実施について
- 救急受け入れ病院と支援病院の理解促進、制度への参加病院の現状
- 救急情報システムの効果と今後の取り組み

詳しくは仙台市議会ホームページの会議録・議会議中継からご覧いただけます。
<https://www.gikai.city.sendai.jp/>

活動報告

福祉器具

2025年2月
先進の子ども用車いすの見学。現在では軽量で取り扱いが楽、そして何よりカラフルな明るい車いすが増えています。



幼稚園児の絵画展

2025年2月
仙私幼PTA主催事業、「第50回親と子と教師の絵画展」がメディアテークで開催されました。3日間で3,650人もの見学者にご覧頂きました。



桜ヶ丘

2025年3月
桜ヶ丘ふれあい館で開催された、落語独演会。昨年の8月に引き続き、現役学生の演目に、多くの住民が喜び、和やかな会になりました。

